

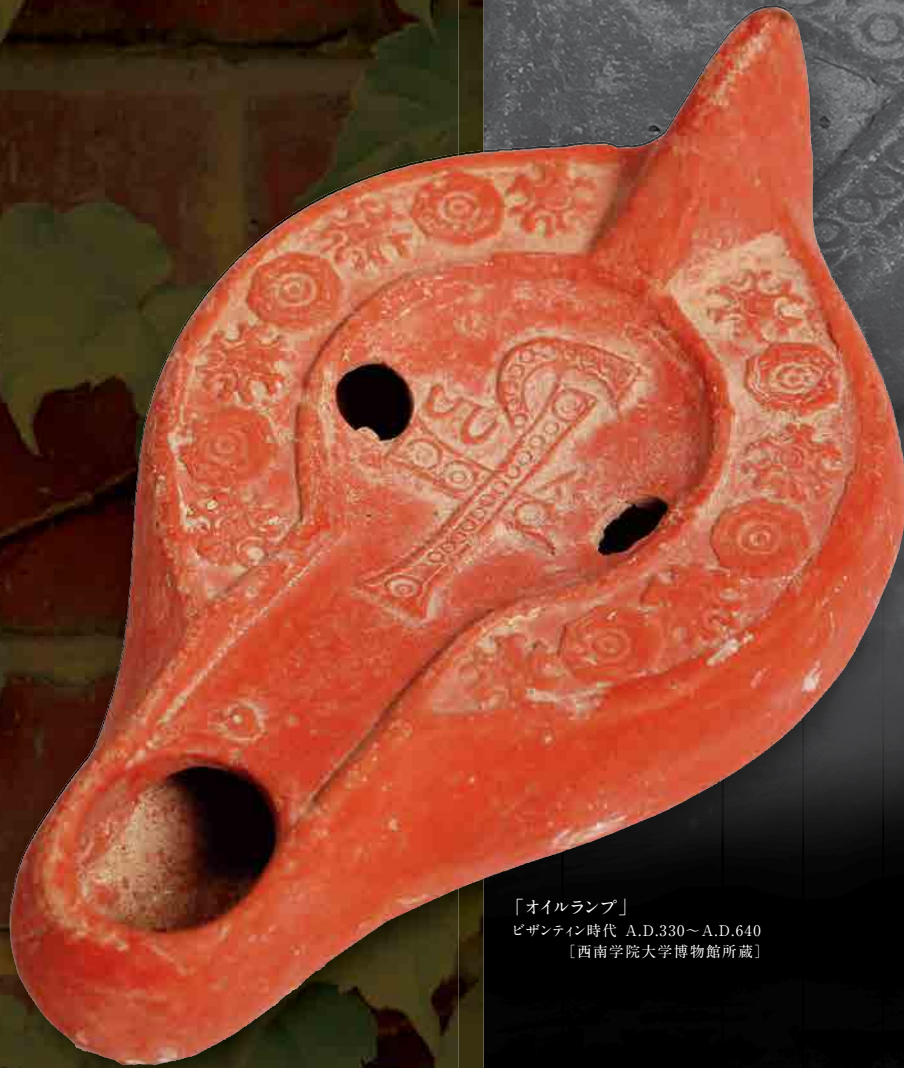
SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **27** 2016.6

郷 西南学院大学



「オイルランプ」
ビザンティン時代 A.D.330～A.D.640
〔西南学院大学博物館所蔵〕

特集「オイルランプ」

ビザンティン時代 A.D.330～A.D.640

特別展紹介 西南学院大学博物館開館10周年記念特別展
信仰の歴史 —キリスト教の伝播と受容—

所蔵品紹介 「オイルランプ」ビザンティン時代

大学博物館紹介 ②⑥ 西南学院大学博物館 常設展示室
～博物館開館10周年記念リニューアルオープン～

SEINAN GAKUIN

1920

西南学院大学博物館 常設展示室

～ 博物館開館10周年記念リニューアルオープン～

本学博物館は開館10周年を記念して、2016年5月13日に常設展示室のリニューアルオープンをしました。新しくなった常設展示室では2つの大きなテーマをもとに展示されています。また、この2つのテーマを象徴するシンボル展示や、協定を結んだ博物館との相互貸借特集展示コーナー、様々なテーマのもと定期的なパネル展示などが行われるギャラリースペースがあります。



I 聖書の系譜とキリスト教の発展

キリスト教の母体であるユダヤ教祭具や、聖書考古学を専門とする関谷定夫本学名誉教授によるコレクション、聖書の写本やアイコンなどの展示を通じて、キリスト教の誕生とその伝播、発展の様子をご覧いただけます。



聖書の系譜とキリスト教の発展



II 日本におけるキリスト教史

キリスト教の日本への伝来と布教、禁教政策の起こりと弾圧の様子、そして開国とキリスト教解禁といった、日本におけるキリスト教にまつわる一連の動きを感じて頂ける内容となっています。



日本におけるキリスト教史



本学キャンパス内に展開している聖書植物園と連動し、聖書植物の標本を展示しています。聖書の植物にまつわる様々なエピソードも定期的なパネル展示でご紹介していきます。



聖書植物の世界



開館10周年にともない、博物館パンフレットも新しいものになりました。ご来館の際は、ぜひそちらも手に取っていただけたらと思います。10周年を迎えた西南学院大学博物館を、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

学芸研究員 山尾 彩香

オイルランプ

ビザンティン時代

A.D.330～A.D.640



石製鋳型

オイルランプは当時、日常生活や祭祀に欠かせないものでした。主にオリーブオイルに浸された灯芯が口から出ており、そこに火をつけて明かりを灯していました。これは現在のアルコールランプと同じような原理です。

写真のランプは北アフリカのカルタゴ（現在のチュニジア付近）で制作されていたものです。石製鋳型の型押しにより作られています。ほかの種類のランプより比較的大



きく、滑らかな赤い粘土で制作されています。ランプの中央には十字があり、その周りは幾何学模様で装飾されています。このころのカルタゴで制作されたランプはキリスト教を表すシンボルが施されている例が多く、十字のほかに魚、鳩などもあります。なお本資料は関谷コレクションの1つであり、常設展示室にて展示しています。

学芸調査員 秋田 雄也

学芸員の眼

博物館と教育普及活動Ⅰ — ミュージアムトーク —

博物館の使命のひとつに、博物館における研究成果を広く公表することがあります。

そこで、当館ではご希望により、来館者の皆さまの前で博物館や展示品についての説明を行うミュージアムトークを実施しています。ご参加される人数によりですが、展示室、あるいは2階の講堂で行っています。



國學院大學博物館でのミュージアムトーク風景

展示室では、来館者の方々が見やすい展示になるよう、説明キャプション等の文字数を制限しています。そのため、キャプションに書ききれなかった展示品の解説や、博物館としての取り組みなどの説明をしています。毎回過不足なく情報をお伝えすることには苦心しておりますが、ご質問などもしいただき、参加された方々が展示を鑑賞される時の手がかりになればと思っております。

また、協定先のひとつである國學院大學博物館とは、相互貸借の企画展を行っておりますが、その中で互いに企画展に関するミュージアムトークを開催しています。毎回ではありませんが、それぞれ異なった分野の解説がありますので、ぜひ多くの方に足を運んでいただけたらと思います。

学芸研究員 野藤 妙



博物館通信

2016年3月から5月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつか紹介いたします。



5月 2日(月) 南島原市×西南学院大学博物館
相互貸借特集展示V「日野江城・原城の姿 —出土した瓦からII—」を本館で開始しました。
2016年7月30日(土)まで開催。



4月 11日(月) 西南学院大学博物館の開館10周年に向け、常設展示室のリニューアル工事をを行いました。
5月 13日(金)にリニューアルオープンしました。



5月 25日(水) 國學院大學博物館×西南学院大学博物館
相互貸借特集展示VII「天神人形 —各地の天神さま—」ミュージアムトークを開催しました。
本相互貸借特集展示は盛況のうちに終了いたしました。



5月 31日(火) 企画展「西南から見た西新の記憶」は盛況のうちに終了いたしました。



南島原市相互貸借特集展示V
「日野江城・原城の姿 —出土した瓦からII—」



常設展リニューアル工事



國學院大學博物館相互貸借特集展示VII
「ミュージアムトーク」



企画展
「西南から見た西新の記憶」

サテライト展示

南島原市相互貸借特集展示V

日野江城・原城の姿 —出土した瓦からII—

会 期 / 2016年5月2日(月)~7月30日(土)
会 場 / 西南学院大学博物館常設展示室



南島原市
相互貸借特集展示V

國學院大學博物館相互貸借特集展示IX

山岳霊場の考古学

会 期 / 2016年5月26日(木)~9月27日(火)
会 場 / 西南学院大学博物館常設展示室



國學院大學博物館
相互貸借特集展示IX

南島原市サテライト展示VI

海外への窓口 KYUSHU・NAGASAKI II —長崎と「唐人」—

会 期 / 2016年3月24日(木)~7月9日(土)
会 場 / 南島原市原城図書館



南島原市
サテライト展示VI

國學院大學博物館相互貸借特集展示VIII

ICON —キリスト教の聖像画—

会 期 / 2016年4月24日(日)~7月23日(土)
会 場 / 國學院大學博物館



國學院大學博物館
相互貸借特集展示VIII

スタッフの声

現在、当館の外壁にはツタが青々と茂っています。冬には葉が散っていましたが、ほんの数ヶ月で壁を覆ってしまうツタの生命力には驚かされます。

さて、このたび5月13日に西南学院100周年・西南学院大学博物館開館10周年を記念して常設展示室のリニューアルオープンが行われました。皆様のおかげで10周年という節目を迎えることができましたことを非常に嬉しく思います。当館はツタのように長い歴史をツタえ、赤煉瓦のように歴史を積み上げてきた博物館です。この西新という地でいつまでも変わらない場所や心を継いでいけたらと思っておりますので、これからも皆様と共に時を刻み続けられるよう、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

学芸調査員 秋田 雄也

西南学院大学博物館 開館10周年記念特別展

信仰の歴史 —キリスト教の伝播と受容—
History of Faith

会期 | 2016.6.10 | 金 | ~ 8.7 | 日 |

時間 | 10:00~18:00 (入館—17:30まで 休館—日曜日、ただし8月7日は除く)

会場 | 西南学院大学博物館 特別展示室—2階講堂

主催 | 西南学院大学博物館

後援 | 福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団

「入場料」
無料



西南学院大学博物館が10周年を迎えたことを記念し、初めてのコレクション展を開催します。当館は西南学院がキリスト教を建学の精神としていることから、キリスト教文化に関する資料を中心に収集してまいりました。

そこで本展覧会では、キリスト教の母体であるユダヤ教から始まり、キリスト教が非西欧圏へと伝播されていくなかで、どのように受け入れられたのかについて紹介します。受容された地域にはそれぞれの特色ある聖画像(イコン)が制作されました。

日本にも安土桃山時代にキリスト教が布教されますが、信仰が禁止され、大勢のキリシタンたちが命を落としました。しかし、為政者たちは禁教政策を行う一方で、異国の文化を積極的に受容している一面も見られます。さらに、開国、キリスト教解禁ののち、西南学院の創設へといたる一連の流れを展示します。本学の創設がキリスト教の伝播と受容の大きな歴史の流れのひとつであることをご覧いただけましたら幸いです。

I キリスト教の起源 —ユダヤの祭具から

ユダヤの信仰は、キリスト教の根幹とかかわります。ユダヤ教の聖典であるトーラーが、キリスト教の旧約聖書にあたるものであることから、両宗教の密接な関係がうかがえます。ユダヤの祝祭・儀礼のなかで用いられる祭具を展示いたします。

I-1 ユダヤの信仰



I-2 ユダヤのランプ

III 日本キリスト教史の光と影

1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に到着し、日本にキリスト教が伝えられ、多くのキリシタンが誕生しました。しかし、キリスト教信仰が禁止され、幕府は禁教政策を実施しました。他方、キリスト教の伝来は、異国の文化を日本にもたらし、禁教下でも異国との交流は続けられました。

III-1 禁教と信仰



III-2 禁教下における異文化交流



II キリスト教の伝播と祈りのかたち

西欧で発展したキリスト教は、長い年月をかけて世界各地に広まりました。世界宗教となる契機は、15世紀にはじまる大航海時代の到来です。特にアジアは布教の舞台となり、インド、フィリピン、日本などには多くの宣教師たちが渡り、各地で特色ある信仰の形態が誕生しました。

II-1 世界各地の受容と祈り



II-2 大航海時代以降のアジア布教

IV 開国と再布教

近代化した列強諸国の圧力により、日本は開国をせまられ、禁教政策は終焉をむかえます。各国から宣教師が来日し、日本におけるキリスト教布教がおよそ200年という月日を経て再開されました。その流れのなか、1916年に西南学院が創設され、現在にいたります。

IV-1 開国と解禁



IV-2 再布教とキリスト教主義教育 —西南学院の創設—



特別展関連イベント

第19回 特別展関連公開講演会

「西南学院旧本館・講堂の改修について」

日時 | 2016年7月2日(土) 14:00~15:30 (入場無料・申し込み不要)

場所 | 西南学院大学博物館2階講堂

講師 | 吉田稔氏(株式会社 一粒社ヴォーリス建築事務所執行役員)

せいなんこどもワークショップ 2016

「テラコッタ風ランプをつくろう!」

日時 | 2016年7月30日(土) 14:00~16:00 (申し込み要)

場所 | 西南学院大学博物館2階講堂

内容 | テラコッタとはイタリア語で「素焼」という意味があり、粘土で作られた焼物を指します。今回のワークショップでは、テラコッタ風のオレンジ色の粘土を使って、オリジナルランプを作ります。

行事予定

2016(平成28)年

【特別展／企画展】

6月10日(金)～8月7日(日)

西南学院大学博物館開館10周年記念コレクション展
「信仰の歴史History of Faith-キリスト教の伝播と受容-」
[場所] 西南学院大学博物館

3月24日(木)～7月9日(土)

西南学院大学博物館×南島原市
「海外への窓口 KYUSHU・NAGASAKI II -長崎と「唐人」-」
[場所] 南島原市原城図書館

4月24日(日)～7月23日(土)

西南学院大学博物館×國學院大學博物館 相互貸借特集展示Ⅷ
「ICON-キリスト教の聖像画-」
[場所] 國學院大學博物館

5月 2日(月)～7月30日(土)

西南学院大学博物館×南島原市 相互貸借特集展示Ⅴ
「日野江城・原城の姿-出土した瓦からII-」
[場所] 西南学院大学博物館

5月26日(木)～9月27日(火)

西南学院大学博物館×國學院大學博物館 相互貸借特集展示Ⅸ
「山岳霊場の考古学」
[場所] 西南学院大学博物館

【講演会】

7月 2日(土) 14:00～15:30

西南学院大学博物館開館10周年記念特別展
第19回特別展関連公開講演会
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
[題目] 「西南学院旧本館・講堂の改修について」
[講師] 吉田稔氏(株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所執行役員)

【こどもワークショップ2016】

6月 4日(土) 14:00～16:00

「聖書植物の世界ツアー」
[場所] 西南学院大学博物館、西南学院大学キャンパス

7月30日(土) 14:00～16:00

「テラコッタ風ランプをつくろう!」
[場所] 西南学院大学博物館

8月27日(土) 14:00～16:00

「学芸員体験!わたしの宝物展」
[場所] 西南学院大学博物館

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]

キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料 / 無料



来館者掲示板

【来館者の言葉】

Beautifully restored. A real time capsule of days gone by. Thank you for allowing me wander around so freely.

(2016年 3月)

この建物が懐かしくて素晴らしいです。鹿児島島の宣教師館(敬愛館)が昭和48年に壊されましたので、ここが永遠に主に在りて、嬉しいです。

(2016年 4月)

ヴォーリスの建物が九州で見れるなんて、本当に幸せなことです。絶対に解体しないようにお願いします。

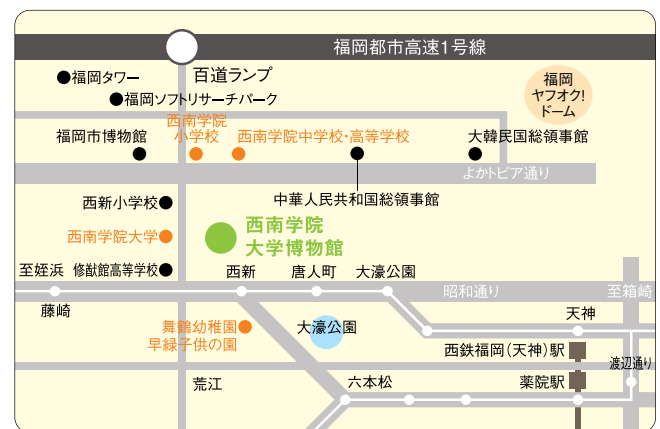
(2016年 5月)

1920年着工、翌年完成のヴォーリス設計による当館は、レンガ造りの建物としては珍しい3階建てです。展示物以外に、福岡県の有形文化財に指定されている当館の建築を目的に来館される方も多くいらっしゃいます。ぜひ、当館に実際に足を運び、建築当時の雰囲気を感じてみてください。

学芸調査員 池永 照美

アクセスマップ

ACCESS MAP



地下鉄

福岡空港 → 西新駅下車...約17分
博多駅 → 西新駅下車...約12分
天神 → 西新駅下車...約8分
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



バス

博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
天神 → 修猷館前...約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分



タクシー

福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分